

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525 (にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



(緑樹苑内撮影)

飛行日誌

今年度は社会福祉法の一部改正に伴い、社会福祉法人の制度改革が行われる状況にあることから、これを機に「こ」でもう一度緑樹会の経営における基本理念について考えておきたい。

これまでも何度か紹介してきたが、緑樹会には四つの経営理念がある。「福祉の風土づくり」「弱い人を助ける志」「幸せ家族のお手伝い」「福祉礼楽の実践」である。

私が緑樹会に来たのはまだ日も浅く、ほとんど新人職員同様が、会長の金城和昌氏とは縁あって、相当に長いつき合いをさせてもらっている。思い起こせば私たちは会う度に、その大半を禅問答のような、それこそ口角泡を飛ばして、意味不明な長い、長い議論を重ねてきたような気がする。

勿論緑樹会の経営理念についても話を交わしてきた。実際には延々と話したのだが、そのエキスだけをわかりやすく(あえて問答式で)伝えるとしたら、たぶんに次のような感じになるのではないかと思う。

私 「福祉とは何ですか」

和昌 「困っている人、弱い人を助けることである」

私 「それでは弱い人とは何ですか」

和昌 「強い、弱いはその人が置かれている状況によって違い、絶対的なものではない。従って弱い人とは、弱い状況にある人である」

私 「では、家族とは何ですか」

和昌 「人は他の動物と異なり、老いた者、病んだ者、弱い者を助ける。すなわちこれは福祉である。従って家族とは福祉の源流にある」

私 「それは福祉礼楽とは何でしょうか」

和昌 「何時も笑顔であいさつし、唇には歌を絶やさないことである」

私 「あえてもう一度訊きますが、福祉とは何ですか」

和昌 「福も祉も幸せの意味であり、すなわち、福祉とは幸福のことである」

さて、このわけのわからないような問答は、緑樹会の経営理念を紐解く智慧になったのだろうか。時代が移り、制度が変わっても社会福祉法人緑樹会の志は次の世代へ継承され、さらに進化(深化)していくことを願いたい。(富永健)



第4回国際ひやみかち節コンクール「ひやみかち大賞」アカペラグループ マフィンズ(上) 審査員特別賞 名護桜太鼓(右上)、2源色plus(右中)、首里クエーナ保存会(右下)

第4回 国際ひやみかち節コンクール

ひやみかち大賞
アカペラグループ マフィンズ

審査員特別賞
名護桜太鼓
2源色plus(ニゲンシキプラス)
首里クエーナ保存会

平成二十八年二月二十一日(日)、沖縄市民小劇場あしびな一で「第4回国際ひやみかち節コンクール」が開催された。昨年十一月から一般募集を開始し一月の締め切りまでに集まった作品は二五組。厳正な一次審査を通過した九組が、本選の舞台に立った。

「年齢、性別、プロ・アマ、ジャンル……不問。」

創作舞踊、ポップス、ハワイアンなど多彩なエンタリーがあった今大会。主催者の緑樹会金城洋子(かなぐすく)ようこ理事長は「あらゆる国の人々の参加と交流を願って『国際』の冠をかぶせました。この大会には実に様々なジャンルの演奏家が登場いたします。『国際』の名に恥じないコンクールとして成長しつつあります。山内盛彬翁が語った『沖縄音楽は世界に通ず』の想いを大切に『ひやみかち節』を以って万国津梁と為す『の気概を育てていきたい。』と挨拶し、コンクールは幕を開けた。



美と技の迫力 名護桜太鼓

幕開けを飾ったのは総勢十五名の「名護桜太鼓」。エイサーから和太鼓、空手と畳み掛ける展開で、舞台を縦横無尽に駆け回る。その演舞を先導するのは紅型に身を包んだ地謡。艶やかな



夢のコラボ

前回に引き続き二回目の登場はいんやくりお。今年は大先輩ミュージシャンの伊集タツヤとのユニット「いんやくりお」伊集タツヤとしてエンタリー。手製のカンカラ三線をかき鳴らすスタイルは変わりないが一年の時間を経て更に上達したプレイに、伊集のギターが時に優しく、時に力強く絡む。いんやくりお得意のアクロバティックなプレイを繰り出すと喝采が起り、会場はライブハウスさながらの雰囲気包まれた。



天まで届け 首里クエーナ保存会

賑やかさから一転舞台上にパーランクが静かに響くと白装束の神女十名が登場する。「首里クエーナ保存会」。最古の琉球古謡のひとつでもあるクエーナを現代に残したのも山内盛彬・ツル夫妻であり、今回の出場となった。クエーナの独

竹とんぼ



特な旋律にのせてひやみかち節を唄う。会場は不思議な感覚に包まれた。雲の上で山内夫妻も微笑んでくれたのではないだろうか。

アロハイサイ 仲本ツトム

ジャンル不問のコンクールに遂にオリジナル楽器まで登場した。三線の胴にウクレレのネックをつけたその名も「アロハイサイン」を片手に登場したのは「仲本ツトム」。カルチャースクールの講師等も務める彼は、軽妙な語りと演奏で「ハワイアンひやみかち節」を披露した。

時を越えて 玉城流鳳玉瑠の会 宮城清美琉舞道場



目も覚めるような鮮やかな衣装で登場したのは「宮城清美琉舞道場」の生徒たち。宮城清美先生本人が四十年前の海洋博の

ステージで踊った振り付けを、時代を越えて今度は生徒たちが披露する。ここにもまた一つ、ひやみかち節によって脈々と受け継がれているものがあつた。

正統派 琉湓会

琉湓会は首里を拠点に活動する三線グループ。コンクールの為に作ったという御揃いのオリジナルTシャツでエンタリーした。今コンクール、最も原曲に忠実に奏でられた総勢十六名によるひやみかち節。改めてこの曲もつ力強さを実感させられた。



VIVAI! HIYAMIKACHI!!! 又吉奈津美

創作ダンスでエンタリーしたのは又吉奈津美。四竹、扇子、パレオを駆使し、舞台を所狭しと飛び回る。スペイン語で歌われた楽曲を使用し、世界中に届けたいという思いを存分に発揮した。



声七変化 アカペラグループ マフィンズ

男女六人のアカペラグループマフィンズ。女性四名の美しい「ハーモニー」に「ボイパ」ことボイスパーカッション(声でリズムを刻む)のビートが重なり、ねばるバリトンがベースラインを引っ張る。声



その先にあるもの 2源色plus(ニゲンシキプラス)

決して奇を衒うのではなく自然にポップスと古典を融合させる「2源色plus」。個々の演奏技術もさることながらヴォーカルのひた向きの声は見るものを熱くする。



その先に何があるか「楽や鳴り美らさき その先に何があるか。花や咲き美らさき その先に何があるか。」自らアレンジを加えたと言う、まるで対話の様なその詩は、古(いにしえ)の大音楽家に対する限りない敬意の表れと、現代を生きる自身への問いかけの如く会場に響いた。

ゲストライブ Lacorde (in「ルルド」)

審査の間、ゲストとしてステージに立ったのは前回ひやみかち大賞の「Lacorde(フコルド)」。屋嘉節、月ぬ美しや等、琉球民謡を三線とピアノ、そし



てバイオリンも交えて奏でる正に唯一無二の「フコルドワールド」は集まった三百人の観客を優しく包み込む。彼らを昨年の大賞に導いた「ひやみかち節」は「どこまでも優しくどこまでも透き通り、賑やかなイメージの強いこの曲は新たな命を吹き込まれ、そのメロディの素晴らしさを際立たせていた。



ひやみかち大賞は「アカペラグループマフィンズ」。技術構成、何よりも会場を沸かせた「ひやみかち力」が評価された。リーダーの知念南海さんは「昨年(第3回大会)を会場で見、どうしても活動したくなった。実はそれまで音楽活動をしていなかったが、今回エンタリーする為にメンバーに呼びかけ、必死で練習した。大賞を貰えるなんて夢のよう。ありがとうございます。」と満面の笑みで喜びを語った。(金城和郎)

【第4回国際ひやみかち節コンクール】応募総数二五組、本選出場九組六五名、協賛企業五十五社、後援・協力十八団体、来場者二百八十名。どうもありがとうございました。

節分の日になんで鬼の面作り

ケアハウスはいびすかす 手芸クラブ



2月1日、ケアハウスはいびすかすでは、利用者の皆さんによる手芸クラブで、節分になんで鬼のお面作りをした。
参加した利用者の皆さんはクレーピーやクレヨン絵具を使って、それぞれ好きな色のお面を作成した。
綺麗な配色の鬼面、丁寧で細かなところまで色塗した鬼面、ほんわりとした色使いのやさしい鬼面など、様々なお面が完成し、皆さんの個性が溢れたとても良い仕上がりになった。できあがったお面を全員で頭にかぶり、皆さん笑顔で記念撮影をした。(照屋璃歩)



ケアハウス ていんさぐぬ花 大型ショッピングモールへドライブ

3月11日(金)、ケアハウス ていんさぐぬ花では、午後からイオンモール沖縄ライカムへドライブに出かけた。
あいにくの空模様であったが、ドライブということも、皆さん元気良くバスに乗りこみ、施設を出発した。
初めて見る大型ショッピングモールに皆さん興奮されている様子。店内では大きな水槽の前で記念撮影をし、フロアの大きなソファでゆっくりとお茶を飲み一息ついた。
皆さん、ライカム地域周辺の風景の変わりように驚いていたが、とても満足された様子であった。その後、近くをドライブしながら帰路についた。(伊藤竜二)



イオンモール沖縄ライカムへ

桜並木に歓声 緑樹苑デイサービス 桜花見



緑樹苑デイサービスセンターでは、2月15日と16日の二日間、さくら花見へ出かけた。
当初予定していた泡瀬方面のさくらはまだ咲いていないとの事で、急遽予定を変更して北谷方面へ向かった。
道中、車内では普段デイサービス内で離れて座っている方と隣りあい、改めて自己紹介をしたり、終始笑い声で包まれた。
目的地の宇地原公園に近づくにつれ、道沿いにさくらの木が沢山あり、利用者の皆さんから「すーいー綺麗ね。」と歓声があがった。
公園では、さくらの木を前に利用者の皆さんで記念撮影するなど、花見を楽しんでいた。
(津嘉山聖羅)



評議員会・理事会 開催報告

3月16日(水)、今年度の第5回評議員会及び第8回理事会が総合福祉センター緑樹苑で開催された。
今回は、主に次年度における各施設・事業所の事業計画や予算について審議され、各施設長や事業所長からそれぞれの事業計画や予算の説明が行われた。
その他、築32年となる特別養護老人ホーム緑樹苑の建て替えに向けて、施設整備の積立金について審議された。施設整備は総額約10億円となる見込みで、15年後の平成43年の建て替えを目標とした。
また、理事会では、給与規程の改正案が審議された。賞与の算定基準が明確に設けられ、規定内容がより明確文化されたほか、パートタイマー等の給与についても同規程に位置づけられた。新規規程は新年度4月1日からの施行となる。
今回承認された事業計画や改正となった規程等については、4月4日の緑樹会全体会議において全職員に周知される。砂川智規

シリーズ

職員エッセイ



ケアハウス ていんさぐぬ花 介護員 池宮 英矢

私は一年半前にていんさぐぬ花に入職しました。
施設には、色々な症状を持った利用者の方がいらして、もちろん性格も様々です。その一人ひとりの利用者の方の性格や状態などを把握・理解し、利用者の皆さんから信頼される職員になれるよう務めていきたいです。



平成28年度 施設長あいさつ



総合福祉センター緑樹苑
介護老人福祉施設緑樹苑
統括センター長
施設長 浜川 通

①介護老人福祉施設緑樹苑(特養)は、リフト車を購入し苑外活動で生活の変化と充実を図ります。②緑樹苑デイサービスセンターは、地域ボランティアを受け入れ、地域との連携を強化し、苑外活動(浜下り、さくら花見等)を充実します。③訪問介護(ホームヘルプ)は利用者や家族の身体や精神面等の総合支援を実施します。④みどり学童は高年齢者との交流、自主性、社交性、協調性を身につけ「勇気あるやさしい心」を育みます。⑤居宅介護支援事業は公正中立な居宅支援を実施します。⑥給食センターは管理栄養士のもと、パランスの取れた食事を提供し、見守りや声掛け等の地域との連携を図ります。以上、各事業が総力をあげ社会福祉の向上を目指します。

ニコニコサービスが原点



ケアハウス
はいびすかす
施設長 金城和郎

この度、ケアハウスはいびすかすの施設長を拝命しました。金城和郎です。介護職を4年、障害者相談員を2年務め、平成21年に社会福祉法人緑樹会に入職いたしました。平成27年度よりケアハウスはいびすかすの副施設長を務め現在に至ります。
緑樹会のロゴマークにある老人と子供の笑顔、「ニコニコサービス」を常に忘れず、お年寄りが安心して生活できる場所、家族が気軽に遊びに来れる場所、そしてすべての職員が頑張る事の出来る施設づくりを目指します。今後のご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

「入居して良かった」の施設づくりを



ケアハウス
ていんさぐぬ花
施設長 與古田哲雄

平成28年4月よりていんさぐぬ花の施設長となりました。はいびすかすでの2年間は職員や入居者、家族会の皆様に支えられ、何とか職務を全うすることが出来ました。感謝の限りです。
ていんさぐぬ花への赴任にあたり、事業目標として最初に人材の育成を掲げました。介護の現場は厳しい現状がありますが、入居者をお世話すること、感謝され喜びを感じ、誇りとやりがいのある職場作りを目指すことにより改善していききたいと思っております。それが入居者へ健康的で明るい安らぎと生きがいのある生活の場を提供することになり、ていんさぐぬ花へ入居して良かったといえる施設運営を目指していきたいと思っております。

平成28年度 社会福祉法人緑樹会【人事】

- 3月31日付
【退任】
・ていんさぐぬ花施設長 徳元将己
- 4月1日付
【就任】
・ていんさぐぬ花施設長 與古田哲雄
- 【昇任】
・緑樹苑(特養)管理課長 砂川智規
・緑樹苑(特養)介護主任 渡久地一(1月1日付)
・緑樹苑(特養)介護副主任 仲宗根亮
・諸見里寿子
・はいびすかす介護副主任 古謝 圭
・祝嶺賢宅
- 【配置転換】
・緑樹苑(特養)介護員 伊禮雄哉
・下地英康
- 【新規採用】
・緑樹苑(特養)介護員 新川龍矢
・はいびすかす介護員 伊良部貴一
・ていんさぐぬ花介護員 奥原賢也

新採用職員施設見学&懇談会

新年度を迎え緑樹会に新たに仲間入りの高校及び高卒者とそのご家族を招き懇談会を行った。

初々しく、こどもっぽさも見え隠れする緊張な面持ちの新採用者と保護者へ法人概要を説明し施設を案内した。ケアハウスはいびすかす、デイサービスセンター、みどり学童と施設の様子を見学し、すでに活躍している職員の生の声を聞き、それぞれに働く姿をイメージしているようだった。

その後、総合福祉センターにて昼食を囲み、見学しての感想や趣味、面接時の印象や仕事を通して期待することなどざっくばらんに懇談した。当人だけでなくご家族にも安心感や期待感を持ってもらえたようである。利用者主体でその笑顔を引き出すサービスが提供できるような養成を目指し、それぞれの成長を期待したい。
(幸喜穂乃)



施設見学後の懇談会は和やかな雰囲気で行われた。



施設見学の様子(ケアハウスていんさぐぬ花)



法人概要についての説明



新採用職員からの自己紹介と抱負が述べられた。



各施設について、施設長より説明が行われた



活躍している先輩職員からの激励

PHPかりゆし友の会・定例会のご案内

PHPかりゆし友の会は、「素直な心になりましょう」をモットーに、学習会や交流会等を行っています。セミナー開催時に入会受付を行っておりますので、ぜひ、ご参加ください。

(参加ご希望の方は、以下の連絡先へ直接ご連絡下さい)

- 日 時：平成28年5月14日(土) 17時~18時
- 場 所：総合福祉センター緑樹苑
- 内 容：PHP誌輪読と気づきあい
- 連絡先：080-1542-8543(與古田)、090-1945-0752(田中)

礼楽塾

礼楽塾とは、緑樹会に集う人々が「礼」によって美しく調和し、「楽」によって自らの人生を謳歌することを目的に行われる後援会会員のための活動です。日程が変更になる場合もあります。参加ご希望の方、また新たに活動を始めたい方、こんな活動があったらいいなのアイディアも、ぜひ、事務局までご連絡下さい!(*印は、会場が講師の道場等となります。)

- 三板 第2・4(火)
- 御座楽・路次楽* 毎週(火)
- 島言葉 第1・3(水)
- クエーナ 第1・3(水)
- 王府おもろ* 第2・4(水)
- 応急手当法 第3(木)*変更あり
- 湛水流三線 第3・4(月)
- PHP勉強会 各施設ごと

4月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(金)	辞令交付式	辞令交付式	辞令交付式	映写会・手芸クラブ	
2(土)			映写会		園外活動
3(日)			カラオケ		
4(月)	職員全体会議	手芸クラブ・職員全体会議	職員全体会議	職員全体会議	
5(火)	事故防止対策研修会	三線			
6(水)		ミニシアター	スカッシュボール	手作りおやつ会	
7(木)		カラオケクラブ	手工芸	ハンドマッサージ	新学期開始
8(金)	浜下り		ボウリング	手芸クラブ	入学式
9(土)			映写会		園外活動
10(日)			カラオケ		
11(月)		利用者健康診断	浜下り		
12(火)	利用者健康診断	三板クラブ	映写会	映写会	
13(水)		防災訓練	防災訓練		
14(木)	防災訓練	書道クラブ		防災訓練	
15(金)	誕生会	浜下り	輪投げ	手芸クラブ・苑内交流	デイサービス交流会
16(土)			映写会		園外活動
17(日)			カラオケ		
18(月)		お茶クラブ	ボウリング		
19(火)		三線	映写会		
20(水)		ミニシアター	誕生会	映写会	
21(木)		カラオケクラブ・美化活動	手工芸		嘉手納基地部隊交流会
22(金)		ドライブ	輪投げ	手芸クラブ・誕生会	
23(土)			映写会		園外活動
24(日)			カラオケ		
25(月)		手作りおやつ会	お茶会	手作りおやつ会	
26(火)		三板クラブ	手工芸		
27(水)	防災訓練	防災訓練	スカッシュボール	防災訓練	
28(木)		散髪・書道クラブ	散髪	映写会	
29(金)		誕生会	輪投げ	手芸クラブ	学童休園日
30(土)			映写会		園外活動

感謝録

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

(平成二十八年二月一日〜二月二十九日)

〔物品の部〕

屋宜 栄 信 様

編集後記

年が明けたと思いきや、あっという間に三カ月が過ぎ、新年度の4月を迎えました。

入学や進学、そして就職の時事で、それぞれが新たな道に不安を抱きながらも希望に胸を膨らませているものと思えます。

緑樹会でも、新卒者の入職があり、志を同じくする新たな仲間が増えました。人事異動も行われ、配置転換や新たな就任など、また新しい体制のもと、新年度がスタートします。

初心に帰り、利用者の皆さんの福祉向上に努めたいと思います。(砂川智規)